

白井市立図書館の在り方を考える

～地域交流ができる図書館を目指して～

白井市 佐藤 和範



1 はじめに

近年、公立図書館は社会情勢の変化に伴い、その在り方を大きく変えている。佐賀県にある武雄市図書館は、国内初となる公共図書館内へのスターバックス出店を実現した。飲食禁止、私語禁止といった図書館ならではの敷居の高さを取り払うとともに、単に本の貸出しする場ではなく、友人知人たちとコミュニティを生み出す場として、図書館に新たな価値を創出した。また、東京都にある武蔵野プレイスは生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援、そして図書館の機能を全て同じ建物の中に併せ持つことで、人々の交流が自然に生み出される場を提供している。神奈川県にある大和市文化創造拠点シリウスは 2016 年に設立し、図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内子ども広場を中核に新しい知識・人々との心弾む出合いをコンセプトとし、3 年足らずで来館者数 900 万人を突破した。

このように図書館の在り方が多様化する中で、本市の白井市立図書館にはどのような在り方が求められているのだろうか。本稿では、近年在り方を変えつつある公立図書館について、変化の背景を明らかにし、その存在意義を確認した上で、白井市立図書館に対して市民及び利用者が何を求めているのか、また市職員及び運営を担う図書館職員がそれぞれどのように考えているかについてアンケート調査により把握し、今後の白井市立図書館の在り方について提言することとした。なお、文中意見にわたる部分については、筆者の私見であることをあらかじめお断りしておく。

2 公立図書館とは

まず本稿で述べる公立図書館の定義を確認する。図書館法によれば図書館は「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」とされている。図書館には国会図書館、大学図書館などいくつか種類があり（高山・岸田編, 2011）、白井市立図書館のように地方公共団体が地域住民に図書館サービスを無料で提供する図書館を「公立図書館」と言う。

3 図書館の存在意義

前述のとおり、公立図書館は地方公共団体が無料で図書館サービスを提供する場所である。それゆえに「無料貸本屋」ではないかといった批判を受けることもある。白井市立図書館の在り方を考えるに当たり、まずは図書館の存在意義について述べる。

「図書館の自由に関する宣言」（1979 年改訂）によれば、「日本国憲法は主権が国民に存するとの原理にもとづいており、この国民主権の原理を維持し発展させるためには、国民ひとりひとりが思想・意見を自由に発表し交換すること、すなわち表現の自由の保障が不可欠

である。」とした上で「すべての国民は、いつでもその必要とする資料を入手し利用する権利を有する。この権利を社会的に保障することは、すなわち知る自由を保障することである。図書館は、まさにこのことに責任を負う機関である。」と述べ、図書館の存在意義が、知る権利を保障し、国民主権の原理を維持、発展させることにあると説いている。このように重要な役割を持つ公立図書館が、なぜ無料貸本屋といった批判を受けることになったのか。図書館の在り方を論じるに当たり、公立図書館の歴史を紐解いてみることにする。

4 公立図書館の歴史

1950年、公立図書館の設置・運営について定めた「図書館法」が成立した。図書館は「図書館奉仕」の理念のもと、地域社会における情報アクセス機関、また生涯学習の基盤として存在するようになった（高山・岸田編, 2011）。

1960年前後に日本は高度経済成長期に入り、産業化・都市化が進み、国民の高等教育に関する関心も急速に高まった。『中小都市における公立図書館の運営』（日本図書館協会, 1963）では「公立図書館の本質的な機能は資料を求めるあらゆる人に対し、効果的かつ無料で資料を提供することだ」とした上で、館内奉仕だけでなく、市民がより図書館サービスを楽しむように分館や移動図書館などの館外奉仕を展開していく必要性があるとした（宮部編, 2012）。

1968年には『市民の図書館：公共図書館振興プロジェクト』（日本図書館協会, 1968）が刊行され、公立図書館は「国民の知的自由を支える機関であり、知識と教養を社会的に保証する機関」と定められた。また、公立図書館の基本機能は貸出し機能であるとし、前述の『中小都市における公立図書館の運営』の考えを改めて提唱した。これを機に、1970年代には全国各地で公立図書館設立に向けた運動が始まり、その後「貸出し」を中心とする公立図書館サービスが発展する契機となった（宮部編, 2012）。

これに伴い、図書館数や貸出数が大きく増加し、市民の図書館利用が飛躍的に増えた。図書館は貸出しを補完するため予約・リクエストサービスなどの機能を強固にし、また、目録や利用者情報をデータベース化して貸出手続きの簡略化を進めた。しかし、貸出サービスを重視するあまり「図書館は無料で本を貸出してくれる場所」という社会的イメージが形成され、図書館への認識が「国民の知的自由を支える機関」から「無料貸本屋」へと傾き始めていった。（宮部編, 2012）。

1990年代からは図書を選定、発注から納入までの物流システムが開発され、新刊本は書店に並ぶのと大差ないタイミングで図書館に並べられるようになった。また電子予約サービスの普及により、パソコンや携帯電話から気軽に予約ができるようになり、ベストセラーになった本には数百件の予約が入るなど、これまでにない予約件数が数えられるようになった。そのため、図書館では一つのタイトルの書籍を複数冊購入する「複本購入」が広く導入された（宮部編, 2012）。その結果、図書館の過度な資料提供に対して、一部の書籍流通業界等からは「無料貸本屋」ではないかといった批判が挙がるようになった。

2003年には地方自治法の改正により、議会の承認を受けた民間企業等が公の施設の管理運営ができる「指定管理者制度」が導入され、全国的に図書館の在り方を見直す契機となっ

た。また2012年には情報化、国際化、高齢化、産業構造・労働市場の変化、住民の学習要求の高度化・多様化などを背景に『図書館の設置及び運営上の望ましい基準』（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）が施行され、図書館法に基づく図書館の設置及び運営上の望ましい基準が示された。図書館はこの基準を踏まえて図書館サービスの実施に努めることが謳われ、各地でその在り方が検討され、改革が進められてきた。

5 近年の図書館に求められること

現代社会は、高度情報化社会である。社会には常に大量の情報が溢れ、個人が必要な情報を的確に収集することは、かえって難しくなっている。また景気の低迷、進行する競争社会、雇用形態の変化、自己責任原則の流れのなかで、専門的な知識や技能の習得など組織に依存しない自立を目指した個人の学習意欲はますます高まっている。さらに、医療、法律、金融等の専門知識が必要となる場面において、より適切な判断を下し豊かな生活が享受できるように、情報格差を埋めるための意識も強まっている。このような個人の努力を支えるための環境整備への要望は非常に強く、その整備が重要な課題となっている。

また、行財政改革において小さな政府が目指されるとともに、特に教育や福祉といった市場原則に則ったサービスの提供方法が必ずしも馴染まない分野においては、課題解決における地域社会の役割への期待が高まっている。子育て、不登校、介護、環境保護、商店街の活性化、地元特産物のブランド化等、様々な地域の課題に対して、問題意識を持つ地域住民や地域に在住・在勤のその道の専門家が集い、それを契機として、地域の課題に取り組むNPO等の団体が結成されたり、その活動を支援するような環境が整えられたりすることによって、地域の課題を自ら解決できるような「地域の自立」が必要となっている。

このような中、公立図書館は様々な資料や情報を集め、その中から利用者が必要とする情報にたどりつけるよう適切なナビゲートができ、情報そのものを迅速に提供できる機能を持っている。このため、近年の公立図書館に対しては地域における情報基盤となり、適切な資料提供等によって地域の課題解決やその解決に向けて取り組む人々を支援する役割が期待されている（地域の情報ハブとしての図書館, 2005）。

6 先進事例

(1) 東京都武蔵野プレイス

武蔵野プレイスは「武蔵境のまちづくりの推進」の一環として、図書館機能以外にも様々な機能を併せ持った地上4階、地下2階にわたる施設である（図1）。青少年活動支援機能では、青少年たちのパフォーマンス発表会「B2 LIVE SHOW!!」等を開催し、青少年たちの日頃の練習成果を披露する場等を提供している（図2）。生涯学習支援機能としては、幅広い世代に親しまれるような身近なテーマをもとにしたイベントを開催し、利用者の交流を図っている。市民活動支援機能としては、武蔵野プレイス登録市民活動団体が主催するイベント情報等を3階市民活動エリア等に掲載し、登録団体の活動を広く市民に伝えるための情報ツールとして活用されている。その他、乳幼児及び保護者向けのおはなし会や、劇団による人形劇公演など、様々な地域交流の場づくりを実現している。

図 1_武蔵野プレイス (館内フロアマップ)



出典：武蔵野プレイス公式ホームページ

図 2_青少年たちのパフォーマンス発表会



出典：武蔵野プレイス公式ホームページ

(2) 佐賀県武雄市図書館

2013年に指定管理者制度を導入し、リニューアルオープンした図書館である。館内には、TSUTAYAやスターバックスがある。リニューアル以来、来館者数は前年比4倍増、図書の貸出冊数は倍増となっている。冒頭で述べたとおり、国内初となるスターバックスの公共図書館内出店を実現するなど、新しい図書館像をつくり上げた。(図3)

2019年11月に、筆者は現地を視察した。武雄市図書館長の溝上氏は、『「図書館らしくない図書館」を合言葉に、たくさんの人に来てもらいたくて、この図書館をつくった。図書館ではスターバックスによるバリスタ講座や定年後の男性に向けた『パンじいイベント』など、様々なイベントを開催している。これらのユニークな催しを通じて、地域の人や利用者が、見て、実行して、本物を学び、最終的に地域のレベルアップにつなげたい』と語ってくれた。

図 3_武雄市図書館 (館内)



出典：武雄市図書館公式ホームページ

7 白井市立図書館の概要

ここで、白井市及び白井市立図書館の概要について触れておく。白井市は、都心と成田空港からそれぞれ約 30 km の千葉県北西部に位置し都心に近いながらも豊かなみどりに恵まれ、良好な住宅地が形成された生活環境の良い都市である (図 4)。

人口は、1979 年の千葉ニュータウンの街開きを契機に飛躍的に増加し、1979 年当時の約 25,000 人から 2018 年度末には約 63,000 人にまで増加した。

図 4_白井市の位置



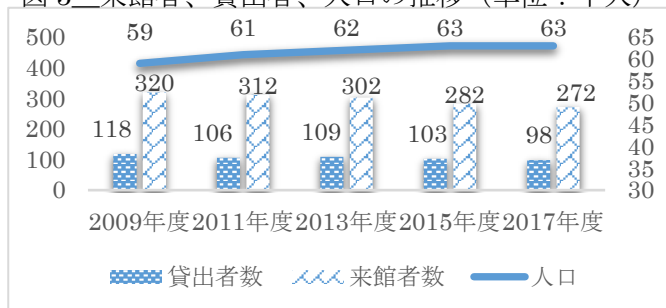
出典：白井市第 5 次総合計画

しかし、今後は、少子化・高齢化の進展、それに伴う人口減少社会が到来するなど、白井市を取り巻く社会経済情勢は厳しい局面を迎えていくことが予想されている。

白井市立図書館は、文化会館、プラネタリウム館、郷土資料館と一体化した3階建て（一部4階）の複合施設「文化センター」の一部として、1994年3月に建設された施設である。1階の図書館部分と2階の学習室が、図書館機能に該当する（別添資料1）。図書のほかCD、DVDなどの視聴覚資料や雑誌、新聞を収集している。開架は15万冊、書庫は35万冊で、最大収容は50万冊である。一般開架、児童コーナー、ヤングコーナー、雑誌コーナー、インターネットコーナー、子どもや保護者を対象にした読み聞かせコーナーや、図書館利用に障がいのある人向けに職員が代読できる対面朗読室などがある。2009年度～2017年度では、人口と蔵書数が増加している一方で、来館者、貸出者、貸出点数は減少している（図5、図6）。図書館サービスに対する評価指標は、市内全体の公民館図書室等も含めた「図書資料蔵書冊数」及び「市民一人当たり蔵書冊数」であり、実績で55万冊、一人当たり8.63冊といずれも目標を達成している（教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価に関する報告書、2017年度事業対象）。現在、購入費の予算減少に伴い同じ本や類本の購入数を減らしており、予約待ち時間が増えるなど、貸出数が減少する傾向にある。

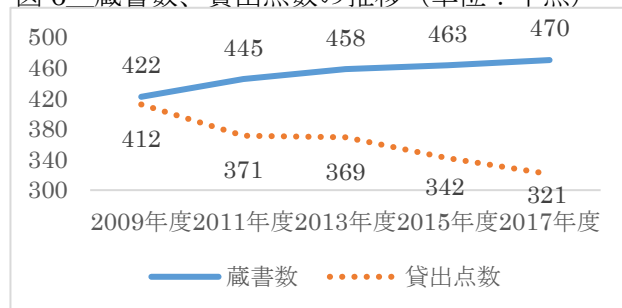
今まで評価されてきた部分は継続しつつ、人口減少、少子高齢化、情報通信技術の発展等の社会変化に対応するべく、今後の図書館の在り方について検討が求められる。

図5 来館者、貸出者、人口の推移（単位：千人）



出典：統計しろい（H30）を参考に筆者作成

図6 蔵書数、貸出点数の推移（単位：千点）



出典：統計しろい（H30）を参考に筆者作成

8 白井市立図書館に求められていることは

(1) 目的

白井市立図書館の今後の在り方を検討するに当たり、市民や市職員が白井市立図書館に対して何を求めているのか、どのように考えているのかを明らかにするため、次のとおりアンケートを実施した。

(2) 概要

アンケートの対象者には、市外在住を含む図書館利用者54人、図書館を利用しない人からの意見も併せて聞くため市内在住・在勤・在学の満18歳以上で構成する白井市eモニター登録者121人、さらに図書館について詳しい図書館協議会委員4人を「市民」として選出した。また図書館を運営する図書館職員37人、市職員451人（非常勤職員等含む）を「職

員」として選出した。調査票の配布方法等を併せた実施概要は以下のとおりである（表1）。なお、アンケート用紙や詳細な回答結果については、別添資料2～5に記載した。

表1_アンケート実施概要

区分	対象	配布人数	回収数(回答率)	配布方法	調査期間
市民	図書館利用者	54人	52人(96%)	用紙配布	R1.12.28
	市民(eモニター)	121人	47人(39%)	電子アンケート	R2.1.7~9
	図書館協議会	4人	4人(100%)	メール	
職員	図書館職員	37人	16人(43%)	電子アンケート ・用紙配布	R2.1.7~9
	市職員	451人	145人(32%)		

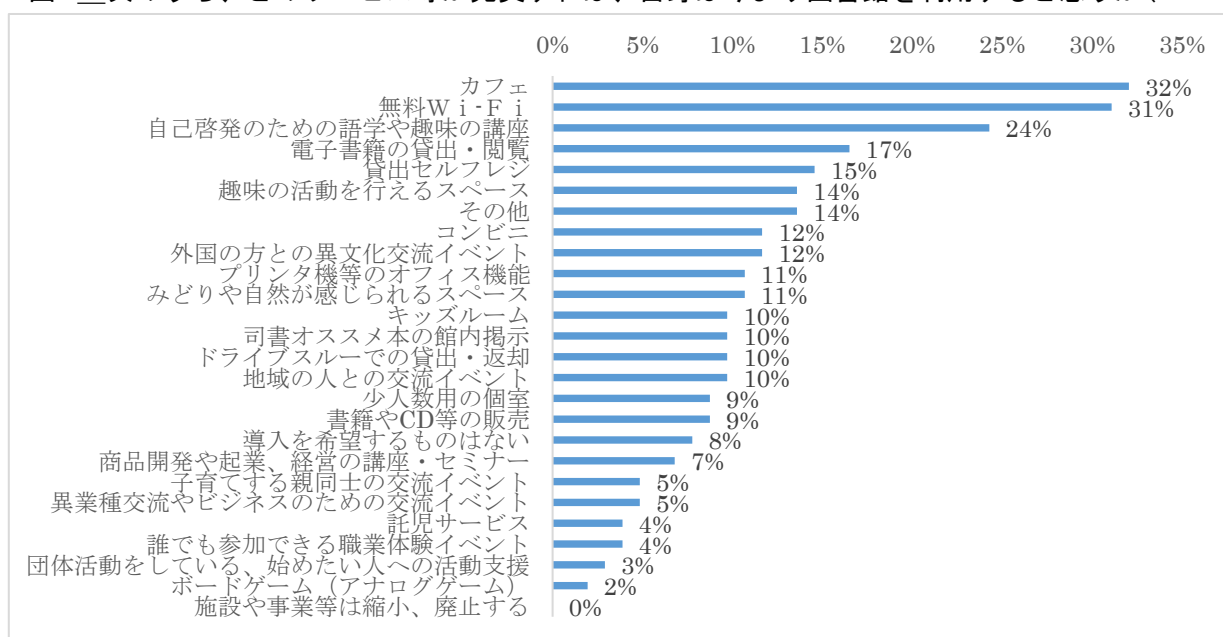
(3) 市民アンケートの結果

まず、市民の回答者属性について、性別は男性54%、女性43%だった。(無回答3%)
 年齢は70代(25%)が最も多く、20代(2%)と80代以上(2%)が最も少なかった。
 現在の図書館に対する満足度は「やや満足」(40%)が最も多く、「不満」は0%だった。
 図書館に充実を求めるサービス等は「カフェ」(32%)が最も多く、「施設や事業等は縮小、
 廃止」は0%だった(図7)。自由記述では「静かに読書できる空間と子連れや学生がにぎやかに話せる空間を分けてほしい」という趣旨の意見が多かった。

図書館で実施すると良いと思うイベント等(自由記述)では、「終活、相続問題等の講座」「地域に関係する作家や文化の講演」「市民の関心事項と行政課題を絡めた企画」などの意見が挙げられた。

利用者が実費負担してでも導入してほしいサービス等では「自己啓発のための語学や趣味の講座」(25%)が最も多かった。

図7_次のうち、どのサービス等が充実すれば、自身は今より図書館を利用すると思うか(n=103)



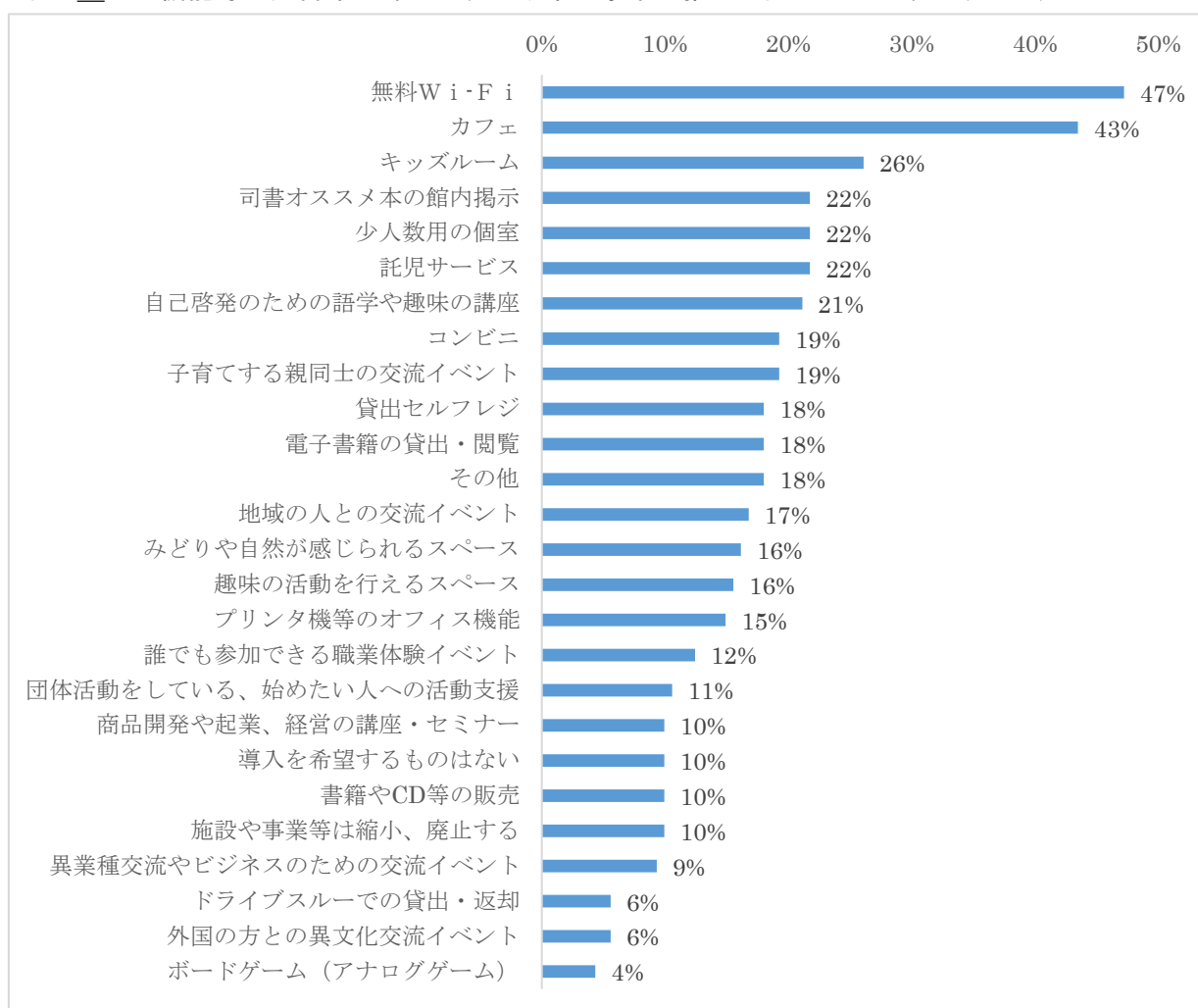
(4) 職員アンケートの結果

事業推進の観点から職員が図書館に求める機能やサービスは「無料 Wi-Fi」(47%) が最も多かった(図 8)。理由は「無料 Wi-Fi やプリンタ機等のオフィス機能があることにより、図書とネットの情報を時間を置かずを取得することができ、知識の習得や活動の推進が図れる」などの意見が挙げられた。自由記述では「白井産農産物の直売コーナー」「子育て中のママの交流会」「定年後の高齢者の地域デビューや再就労・ボランティアデビュー」など、市の政策課題の解決に寄与する機能等を求める意見が多く挙げられた。

また、これらの機能等があることにより「地域交流の推進が図られ、将来的な協働の素地となる」「賑わい創出、市民交流が図れる」など、地域交流の促進を期待する意見が多かった。

図書館で実施すると良いと思うイベント等(自由記述)では、「子どもがもっと本を身近に感じられるイベント」「大人の読み聞かせボランティア育成につなげるため、子供たちに本の良さを広めるイベント」などが挙げられた。

図 8_どの機能等が図書館にあれば、より市の事業の推進が図れると思うか(n=161)



9 考察

市民に「市民又は利用者として」、職員に「事業を推進する者として」、それぞれ図書館に求める機能等をアンケートにより調査した。その結果について、以下のとおり分析、考察する。

(1) 共通部分

市民、職員ともに「カフェ」と「無料Wi-Fi」の回答が上位に挙がっており、図書館への長時間滞在や利便性の向上を求めていることが推察できる。特に、職員アンケートでは「カフェを導入することで市民交流の場となり、賑わいを創出する事業等の促進が図れる」といった意見が多かった。また、無料Wi-Fiを導入することで「イベント等の参加者が感想や状況をSNSに投稿し、情報発信や魅力発信ができる」「Wi-Fi目当てで来る若者も多いと思うので、イベント等への参加者も増えるのでは」といった意見が挙がった。

市民、職員いずれのニーズも高いことが確認できたが、導入に踏み切るには単に「利用者の増加が見込めるから」ではなく、公立図書館の役割や存在意義に照らし合わせて判断する必要がある。

(2) 差異が生じた部分

図7と図8を比較すると、職員アンケートでは「キッズルーム」が上位3位26%、「託児サービス」が6位22%であったことに対し、市民アンケートでは「キッズルーム」が12位10%、「託児サービス」22位4%と、市民ニーズは高くないという結果が出た。

しかし、『白井市住民意識調査』（2019速報版）では、市が充実すべき子育て支援施策として「必要な時に誰でも利用できる保育サービス」（29.5%）が選択肢中2番目に高く、託児のニーズが低いわけではないことが分かっている（住民意識調査は911人が回答。本設問は15個の選択肢から3つまで回答可能）。今回の市民アンケートの回答者103人中、女性は約半数の44人だった。女性44人中、年齢は20-40代が39%で、職業は主婦・主夫が48%、利用時間は1時間未満が66%だった。またアンケートでは「図書館の良くなってほしい所」という設問に対し、「子連れだと気を使い利用しにくい。幼児向けに部屋を分けたり、休憩できるカフェやスペースを充実させてほしい」「子どもと一緒に本を読めるスペースを増やしてほしい」といった意見があった。一方で、103人全体のアンケート回答の中には、「具体的に不満がある点は何か」という設問に対し「小中高生がうるさい」といった意見が挙げられていた。

このことから、現在の白井市立図書館が子連れの利用に適した空間ではないこと、利用者層によって求める静かさ、にぎやかさが違い、別々の空間を求めていることが明らかになった。

なお、「外国の方との異文化交流」について、職員アンケートは25位6%と低かったが、市民アンケートでは9位12%とやや高め、地域交流の4つの選択肢の中では最も上位にあった。

その他、「施設や事業等の縮小、廃止」については、市民アンケートは利用しない人も含めて回答が0%だったことに対し、職員アンケートは22位10%という結果が出た。

10 提言

前述のアンケート結果及び考察を踏まえ、次のとおり提言する。

【にぎやかに話せて地域交流ができる図書館】

アンケートの結果から、「カフェ」「無料 Wi-Fi」のほか、「自己啓発の講座」や子育てママの交流会などの「地域交流」を望む意見が多いことが確認できた。地域のコミュニティや市民活動の重要さは、防災、福祉、子育て支援など、市民生活に関する様々な点から再認識されている。図書館は、様々な目的を持った人が気軽に立ち寄れる地域住民にとって身近な施設であり、地域で読書活動を推進する団体やボランティア活動の支援を通じて、人と人、人と団体とのつながりを築いていく施設でもある。図書館は、このような市民相互の交流を促進する機能を重視し、地域のコミュニティ形成や市民力の向上につながるきっかけを提供し、地域の課題解決を支援し、地域の発展に寄与していくことが求められている。

そこで、図書館で地域交流を実現するために、まずは「にぎやかに話せる空間と静かに読書できる空間を分けて創出すること」を提案する。現在の図書館には大きな声で話せる空間はなく、会話による交流が生まれにくい状況にある。会話は交流のきっかけになるので「話しづらい」という雰囲気は撤廃する必要がある。しかし、新たな空間を増設又は工事により既存の図書館施設を物理的に分離するのは、財政的に考えて実現が困難である。そのため、具体的には図書館 2 階の学習室を「地域交流の場に転用する」ことを提案したい。学習室は 50 人ほどが入れる大きさ（45 m²程度）があり、1 階の図書館部分（本が並べられ読書できる空間）とフロアが分かれている。ここならば、来館者同士で会話や交流を深めることができ、ニーズの多かった自己啓発に関する講座なども開催ができる。

また、飲食ができるというメリットもある。図書館 1 階はカーペット仕様であることも鑑み、フタ付きの飲み物以外は飲食ができない。その点、2 階の学習室ならばフローリング仕様で、現在は 1 階同様の飲食制限がかかっているが、本もカーペットもないため飲食自由にすることができる。また、2 階には市民が経営するカフェがあるため、お店で食べることも、注文して学習室で食べることもでき、にぎわいも生まれやすくなる。さらに、2 階のカフェで館内デリバリーや、フタ付きでインスタ映えしそうな飲料を販売すれば、今以上の売上、来館者の増加も見込めるだろう。

アンケートで希望の多かった「無料 Wi-Fi」の導入も考えられる。交流人口を増やすには図書館に魅力を増やすことが必要になる。無料 Wi-Fi は、来館理由になる上、アンケートでは「イベント開催後に参加者に SNS への投稿を促すことができれば、情報発信、魅力発信が可能となる」といった意見があった。他市の図書館では、海外の子どもたちと電子上（映像）でつながり、異文化交流を促進する事業なども実施している。無料 Wi-Fi の活用はアイデア次第で幅広くあると考えられる。

また、職員アンケートではキッズルームや託児サービスの充実を希望する意見が多かった。決まった日にち、例えば第 2 金曜日は「子育てママ交流の日」などと設定し、さらに保育士等の協力も得られれば、図書館利用の促進、子育て支援に寄与するものと考えられる。さらに、この取組みにより「子どもの読書活動の充実」につなげることができる。子どもに

とって読書活動は、言葉を学び、表現力や創造力を豊かにする重要なものである。幼児の頃から親と共に読書を始め、「家読（うちどく）」を促進できれば、白井市の未来を担う子どもたちの学力向上や豊かな人格形成の一助となることが期待できる。そして、学校での読書活動が子どもの読書習慣を育むうえで重要な役割を果たしていることから、これまで以上に学校や学校図書館との連携を強化し、子どもが身近に本にふれ、読書の魅力を感じることができる機会を充実させていくことが必要である。

さらに、現代は高度情報化社会である。スマートフォンやタブレット端末をはじめとする電子媒体が普及し、情報格差が社会問題となっている。アンケートでは、自由記述で「パソコン教室の開催」を希望する意見もあったので、今後高齢化が見込まれる白井市においては、特に高齢者を対象としたパソコン教室などは意義の大きい事業だと思われる。

これらのように、図書館は、図書館法等に基づく基本的な考え方や役割は維持しながらも、その時々々の社会状況や地域課題に対応できる大きな可能性を持っている。白井市立図書館は白井市のほぼ中央に位置し、いつでも、だれでも利用できる施設である。白井市役所や、市民活動を支援するまちづくりサポートセンター、民間の病院などからも徒歩圏内にあり、これらの機関との連携強化がしやすく、知の書庫であり、人と本をつなぐ司書がいること。これらは白井市立図書館にしかない強みである。人が集まり、交流が生まれ、にぎわいを創出し、そこで生まれた魅力を発信する。魅力が伝わり、また人が集まり、と連鎖できれば「もっと豊かで魅力あふれる白井」がつけられると考えられる。さらに、地域交流をファーストステップとし、図書館でつくられたコミュニティを地域に還元することで、災害時の共助や、見守りが必要な地域の子ども等に対する地域間の相互扶助への波及も期待ができる。

一方、「地域交流の場への転用」を実現するには課題もある。現在、学習室は学生や社会人の自習の場となっている。日本図書館協会の『公立図書館の任務と目標』（2004年改訂）によれば、「席借りのみの自習は図書館の本質的機能ではない。自習席の設置は、むしろ図書館サービスの遂行を妨げることになる」としている。しかし、一般的には「図書館は自習ができる所」という認識があり、実際に白井市立図書館には自習の場としての利用者がいる。今後、地域交流の場への転用を考えていくに当たっては、現在の学習室の利用者や関係者、市民に広く意見を募るため、アンケートなどを実施する必要がある。

また、学習室の利用の範囲については、白井市文化センター図書館研修室管理要綱により「来館者の自習」「図書館が主催または共催する事業」などに限られている。そのため、前述した子育てママの交流会や、団体主催の講演会などは実施できない状況である。地域交流の実現に当たっては、学習室の利用の範囲について要綱改正が必要となる。

さらに、仮に要綱改正等により地域交流の場に転用できても、それが広く市民や図書館利用者に伝わらなければ活用は見込めない。「図書館からの多くの発信が市民には届かず残念」といった意見は、今回の市民アンケートでも出されていた。周知をする際には、ホームページだけでなく、ブログ、ツイッター、Facebook、インスタグラム、LINE@など多種多様な情報発信ツールの活用が望ましい。なお、これらを活用する際は「利用者は年代、趣味、志向が幅広い」という SNS の特性に注意する必要がある。独立行政法人国民生活センター『国民生活 2019 年 6 月号 (No. 83)』では、「公的な情報は『広く市民に』『全ての市民に』という

使命を帯びているが、同じ表現で全ての人に刺さるメッセージを届けることはできない。世代や家族構成、居住地、職業、趣味などによって興味関心は異なっていることを念頭に、まずは特定少数に向けて刺さる表現を考えることが適当である。」と述べている。また、「利用者は自分に関係のある情報、メリットのある情報でなければ気に留めることが少ない。『ジブンゴト』に感じてもらうため『私たちはこんなことをしました』を伝えるのではなく、『あなたの生活にこんなメリットがある』といったことを伝えることが重要だ」と併せて述べている。

また、実現に向けて取り組む際は、プロジェクト設計段階から市民協働で行うことも大切である。佐賀県の伊万里市民図書館は、図書館の設計当初から市民が携わっており、図書館の機能や役割について職員と意見を交わし、ともに学び、今日の伊万里市民図書館をつくり上げた。1994年4月の起工式には市民200人が参加し、同年10月の中間見学会には図書館を完成前から見たいと多くの市民が関心を持って集まった。そして、それに応えるように行政や設計者からは計画や進行状況等について情報を公開した。これは市民にとっても嬉しいことであり、「我が町の図書館を大切に育てていこう」とする気持ちが生まれてくる要因となった（第35回佐賀自治研集会 要請レポート）。2019年11月に筆者は伊万里市民図書館へ視察に行った。設計当時から当図書館に携わっている前館長の古瀬氏は「面白いことをどんどんやるべき。市民も行政職員も楽しむこと。これは特に行政職員には大事なことだ」と今なお熱い気持ちを語ってくれた。

11 おわりに

本レポートの作成を通して、地域の人と人とのつながり、信頼関係の構築が住み良いまちづくりにどれほど大切か痛感した。また、市民同士だけでなく行政も積極的に地域に入り、日頃から連携・協力体制をつくっていくことが必要なのではないかと強く感じた。また、今後も社会は都市化、高度情報化、少子高齢化が進んでいくことが予想されている。そのような中、白井市立図書館には時代の情勢を察知しながら、地域社会に合わせた図書館サービスを実施していくことが求められる。図書館は、社会教育施設として、市民生活のあらゆる面でその暮らしを支える存在となり得るものである。今後の白井市において、白井市立図書館が地域のまちづくりに一層貢献し、市民の豊かな生活に寄与することを強く願う。

最後に、調査研究を進めるに当たり、熱心に御指導いただいた東洋大学沼尾波子教授を始め、全国地域リーダー養成塾の仲間や事務局の方々、アンケートに協力してくださった市民、図書館利用者、図書館協議会並びに職員の皆さまへ、心から感謝を申し上げます。

【参考文献・ホームページ】

- ・大串夏身（2015）『挑戦する図書館』青弓社
- ・大串夏身（2017）『図書館のこれまでとこれから』青弓社
- ・大串夏身・常世田良（2012）『第2版図書館概論』学文社
- ・白井市（2016）『第5次総合計画期基本計画』白井市
- ・高山正也・岸田和明編（2011）『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論』樹村房

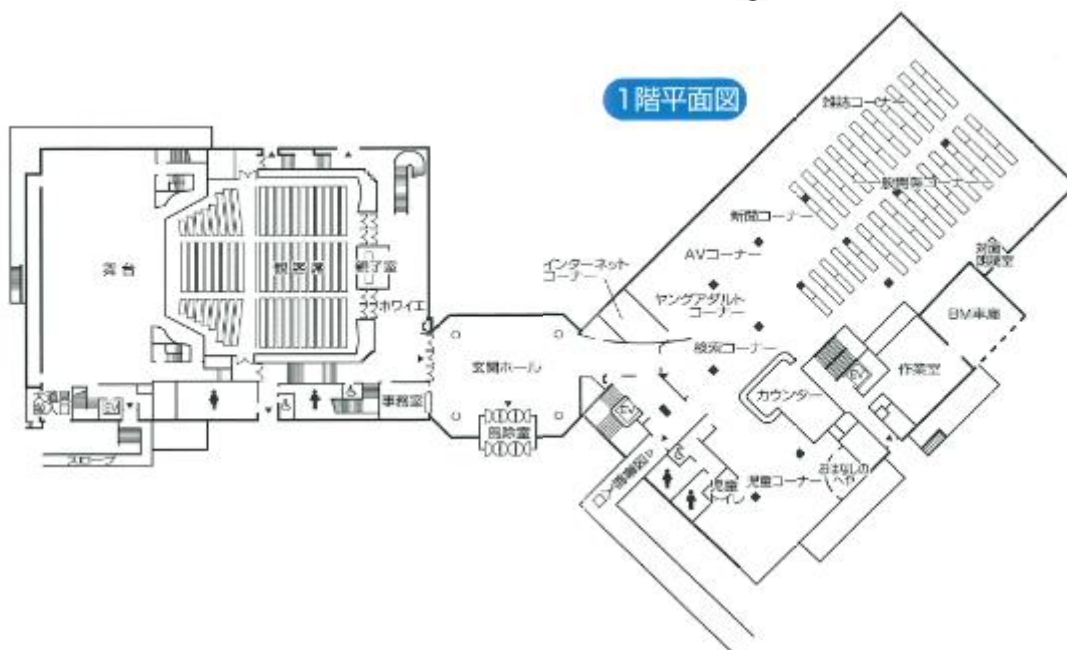
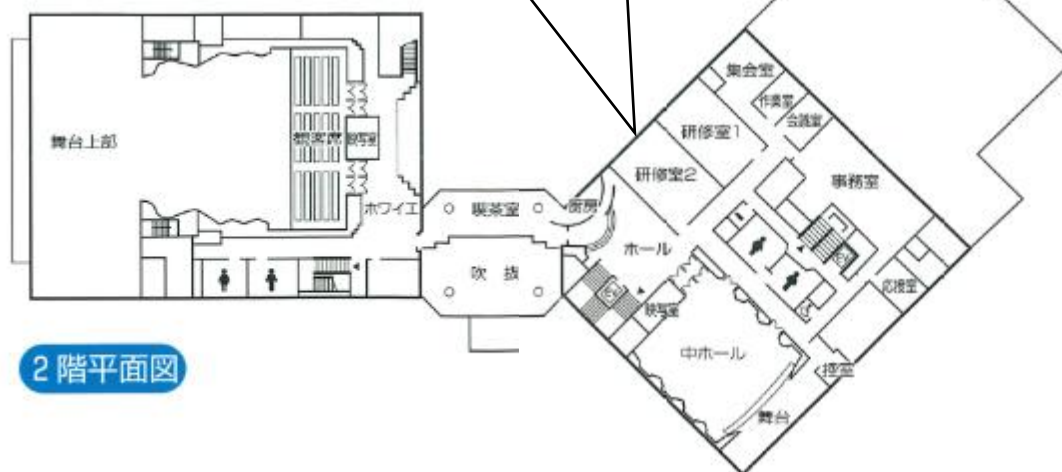
- ・図書館をハブとしたネットワークの在り方に関する研究会（2005）『地域の情報ハブとしての図書館』図書館をハブとしたネットワークの在り方に関する研究会
- ・日本図書館情報学会研究委員会編（2018）『図書館情報学シリーズ 5 公共図書館運営の新たな動向』
- ・宮部頼子編（2012）『現代図書館情報学シリーズ 4 図書館サービス概論』樹村房
- ・白井市ホームページ (<http://www.city.shiroi.chiba.jp/>) (2019年12月27日アクセス)
- ・第35回佐賀自治研集会（2014）『第13分科会 要請レポート』(http://www.jichiro.gr.jp/jichiken_kako/report/rep_saga35/13/1303_yre/index.htm) (2019年12月27日アクセス)
- ・武雄市図書館ホームページ (<https://www.epochal.city.takeo.jp/winj/opac/top.do>) (2019年12月27日アクセス)
- ・独立行政法人国民生活センター『国民生活 2019年6月号 (No.83)』(http://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-201906_02.pdf) (2020年1月21日)
- ・日本図書館協会ホームページ『日本の図書館統計』(<http://www.jla.or.jp/library/gudeline/tabid/228/Default.aspx>) (2019年12月27日アクセス)
- ・武蔵野プレイスホームページ (<http://www.musashino.or.jp/place/>) (2019年12月27日アクセス)
- ・大和市文化創造拠点シリウスホームページ (<https://yamato-bunka.jp/>) (2019年12月27日アクセス)

一別添資料 1- (白井市立図書館 1~2 階平面図)



※本文中の「学習室」は、
平面図 2 階の「研修室 2」を
指します。

また、「カフェ」は、
平面図 2 階の「喫茶室」を
指します。



出典：白井市文化センター パンフレット

写真：図書館職員撮影

一別添資料 2- (市民アンケート内容) 【白井市立図書館アンケート】

本アンケートは、一般財団法人地域活性化センターが開催する「全国地域リーダー養成塾」という研修の修了レポートの作成を目的として実施するものです。作成に当たり、白井市立図書館に対する皆様の率直なご意見が聞ければと思っておりますので、何卒ご協力をお願い申し上げます。

※現時点での白井市の計画や白井市立図書館の運営方針等と直接関係するものではありません。

アンケート作成：白井市役所 総務部 公共施設マネジメント課 佐藤 和範

※以下「図書館」は、『白井市立図書館（白井市復 1148-8）』を指します。

「資料」は『新聞、雑誌、図書、音楽 CD、映像 DVD』など、全ての図書館資料を指します。

1 あなたのことを教えてください

性別 男 女 無回答

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上

職業 会社員 公務員 自営業 学生（小・中・高・大）主婦・主夫 その他（ ）

在住 市内（ ）小学校区 市外

※小学校区が不明な場合は、自宅から一番近い小学校名を記入してください

2 図書館の利用頻度を教えてください

ほぼ毎日 週 2～3回 週 1回 2週間に1回 3週間に1回 月 1回

年数回 利用しない（⇒裏面の問 8以降にご回答ください） その他（ ）

3 利用目的を教えてください（複数回答可）

知識や教養を得る 趣味・娯楽 仕事の調査・研究 勉強や学習スペースとして使う

友人知人と会う その他（ ）

4 1回あたりの利用時間を教えてください

1時間未満 1時間以上～2時間未満 2時間以上～3時間未満 3時間以上

5 現在の図書館について、総合的な満足度を教えてください

満足している やや満足している どちらとも言えない やや不満がある 不満がある

6 具体的に満足している点を教えてください（複数回答可）

開館日 インターネットコーナーの使いやすさ

開館時間 2階の学習室

貸出期間 資料等の返却ボックス

貸出冊数 読み聞かせ

資料の充実さ 対面朗読

資料の配置の仕方 （図書館利用に障がいのある方向け）

館内の行事・展示 資料等の宅配サービス

館内が食事禁止 （図書館利用に障がいのある方向け）

職員の対応 特にない

検索機の使いやすさ その他（ ）

7

具体的に不満がある点を教えてください（複数回答可）

- | | |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 開館日 | <input type="checkbox"/> インターネットコーナーの使いやすさ |
| <input type="checkbox"/> 開館時間 | <input type="checkbox"/> 2 階の学習室 |
| <input type="checkbox"/> 貸出期間 | <input type="checkbox"/> 資料等の返却ボックス |
| <input type="checkbox"/> 貸出冊数 | <input type="checkbox"/> 読み聞かせ |
| <input type="checkbox"/> 資料の充実さ | <input type="checkbox"/> 対面朗読 |
| <input type="checkbox"/> 資料の配置の仕方 | (図書館利用に障がいのある方向け) |
| <input type="checkbox"/> 館内の行事・展示 | <input type="checkbox"/> 資料等の宅配サービス |
| <input type="checkbox"/> 館内が食事禁止 | (図書館利用に障がいのある方向け) |
| <input type="checkbox"/> 職員の対応 | <input type="checkbox"/> 特にない |
| <input type="checkbox"/> 検索機の使いやすさ | <input type="checkbox"/> その他 () |

8

問2で「利用しない」と回答された方に伺います。
図書館を利用しない理由は何ですか？（複数回答可）

- | | |
|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 欲しい資料がない | <input type="checkbox"/> 存在を知らない |
| <input type="checkbox"/> 館内の設備が不便 | <input type="checkbox"/> 他の図書室等を使っている |
| <input type="checkbox"/> 交通が不便 | <input type="checkbox"/> 書店やインターネットなどで間に合っている |
| <input type="checkbox"/> 雰囲気が悪い | <input type="checkbox"/> 返却等の手続きが面倒 |
| <input type="checkbox"/> 必要性を感じない | <input type="checkbox"/> 時間がなくて行けない |
| <input type="checkbox"/> 利用方法が分からない | <input type="checkbox"/> その他 () |

9

次のうち、どのサービス等が充実すれば、自身は今より図書館を利用したいと思いますか？（複数回答可）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 無料Wi-Fi | <input type="checkbox"/> 自己啓発のための語学や趣味の講座 |
| <input type="checkbox"/> 電子書籍の貸出・閲覧 | <input type="checkbox"/> 商品開発や起業、経営の講座・セミナー |
| <input type="checkbox"/> 少人数用の個室 | <input type="checkbox"/> 地域の人との交流イベント |
| <input type="checkbox"/> 書籍やCD等の販売 | <input type="checkbox"/> 子育てする親同士の交流イベント |
| <input type="checkbox"/> コンビニ | <input type="checkbox"/> 外国の方との異文化交流イベント |
| <input type="checkbox"/> カフェ | <input type="checkbox"/> 異業種交流やビジネスのための交流イベント |
| <input type="checkbox"/> ボードゲーム（アナログゲーム） | <input type="checkbox"/> 誰でも参加できる職業体験イベント |
| <input type="checkbox"/> キッズルーム | <input type="checkbox"/> 趣味の活動を行えるスペース |
| <input type="checkbox"/> 託児サービス | <input type="checkbox"/> みどりや自然が感じられるスペース |
| <input type="checkbox"/> 貸出セルフレジ | <input type="checkbox"/> 団体活動をしている、始めたい人への活動支援 |
| <input type="checkbox"/> 司書オススメ本の館内掲示 | <input type="checkbox"/> 施設や事業等は縮小、廃止する |
| <input type="checkbox"/> ドライブスルーでの貸出・返却 | <input type="checkbox"/> 導入を希望するものはない |
| <input type="checkbox"/> プリンタ機等のオフィス機能 | <input type="checkbox"/> その他 () |

10

図書館で実施すると良いと思われるイベントや講演、活動などの企画があれば教えてください (自由記述)

11

問 9 で何らかのサービス等の導入を希望された方に伺います。

自分で実費を負担 (利用・参加時に料金が発生) しても、導入してほしいと思うサービス等があれば教えてください (複数回答可)

※無料Wi-Fiは、無料を前提としているため、選択肢から省略しています。

※コンビニやカフェ等については、購入者が費用負担するものとして、選択肢から省略しています。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 電子書籍の貸出・閲覧 | <input type="checkbox"/> 地域の人との交流イベント |
| <input type="checkbox"/> 少人数用の個室 | <input type="checkbox"/> 子育てする親同士の交流イベント |
| <input type="checkbox"/> ボードゲーム (アナログゲーム) | <input type="checkbox"/> 外国の方との異文化交流イベント |
| <input type="checkbox"/> キッズルーム | <input type="checkbox"/> 異業種交流やビジネスのための交流イベント |
| <input type="checkbox"/> 託児サービス | <input type="checkbox"/> 誰でも参加できる職業体験イベント |
| <input type="checkbox"/> 貸出セルフレジ | <input type="checkbox"/> 趣味の活動を行えるスペース |
| <input type="checkbox"/> 司書オススメ本の館内掲示 | <input type="checkbox"/> みどりや自然が感じられるスペース |
| <input type="checkbox"/> ドライブスルーでの貸出・返却 | <input type="checkbox"/> 団体活動をしている、始めたい人へのアドバイス |
| <input type="checkbox"/> プリンタ機等のオフィス機能 | <input type="checkbox"/> 基本的には、税金 (市民全体) で負担した方が良くと思う |
| <input type="checkbox"/> 自己啓発のための語学や趣味の講座 | <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 商品開発や起業、経営の講座・セミナー | |

12

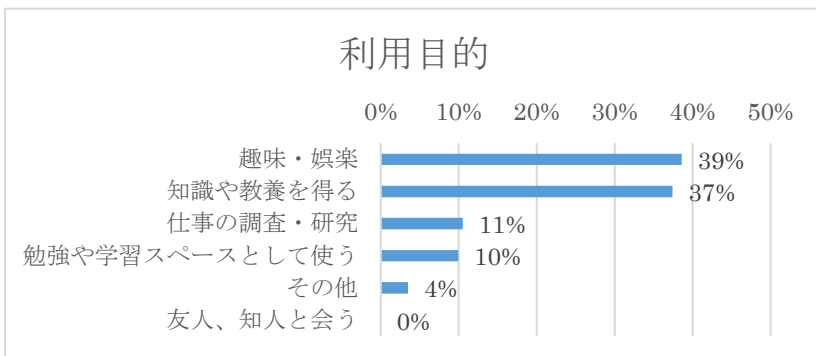
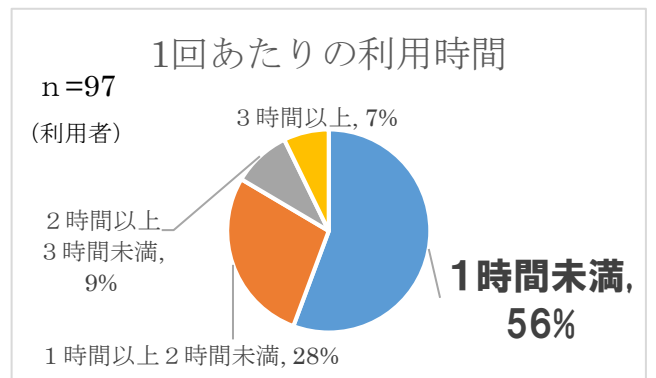
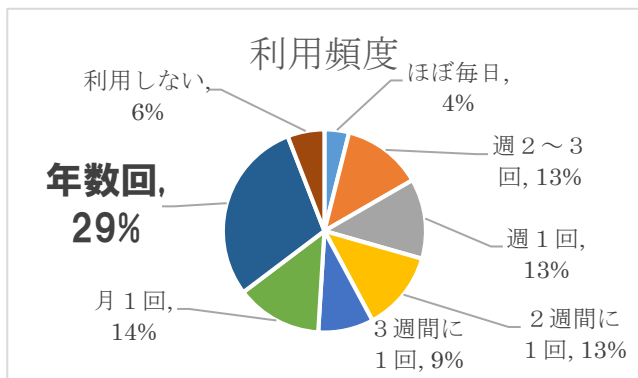
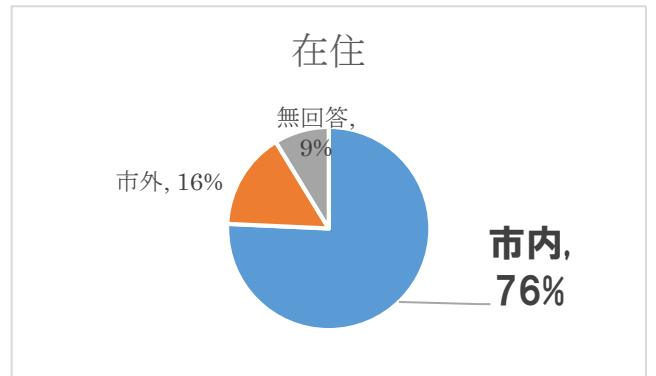
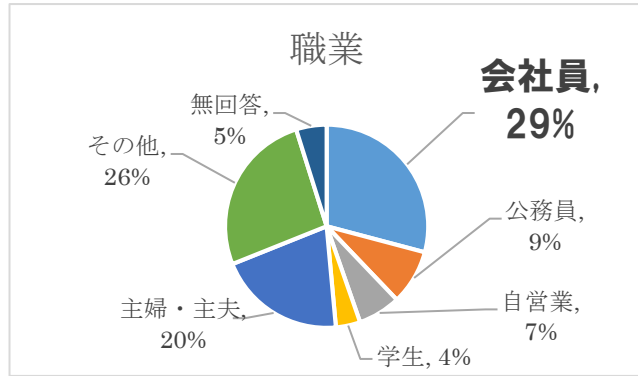
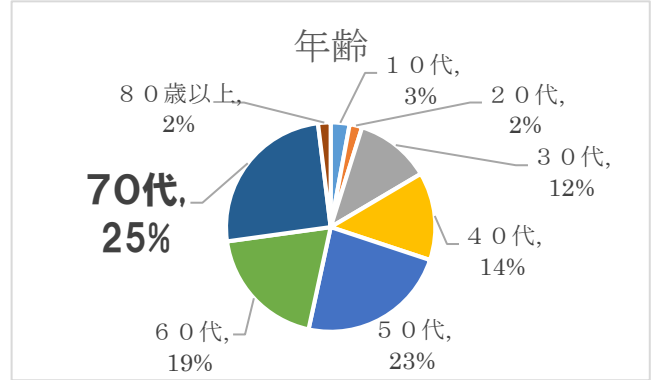
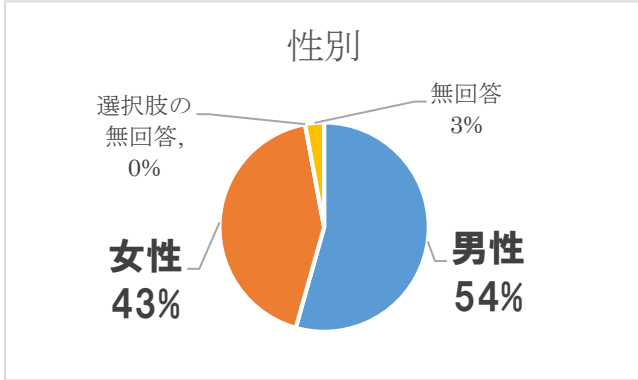
図書館の良い所や、良くなってほしいと思う所があれば教えてください (自由記述)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

一別添資料 3- (市民アンケート結果)

※小数点第 1 位を四捨五入。そのため合計値が 100%にならない場合あり。

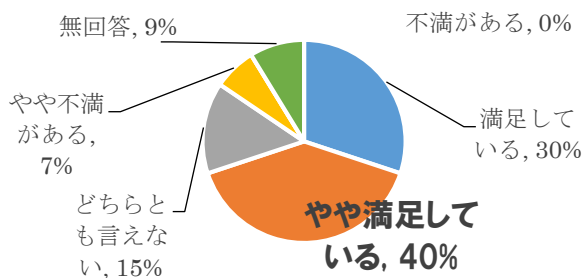
特段の注記がない限り回答総数は 103 人。円グラフは択一式、棒グラフは複数選択式の設問である。



利用目的「その他」の主な意見

- ・ 2階カフェプランでランチのため。おいしい。
- ・ 新聞、雑誌を読むため。
- ・ 子供に絵本を読ませるため。
- ・ 地域活動に必要なものを探すため。

図書館に対する総合満足度



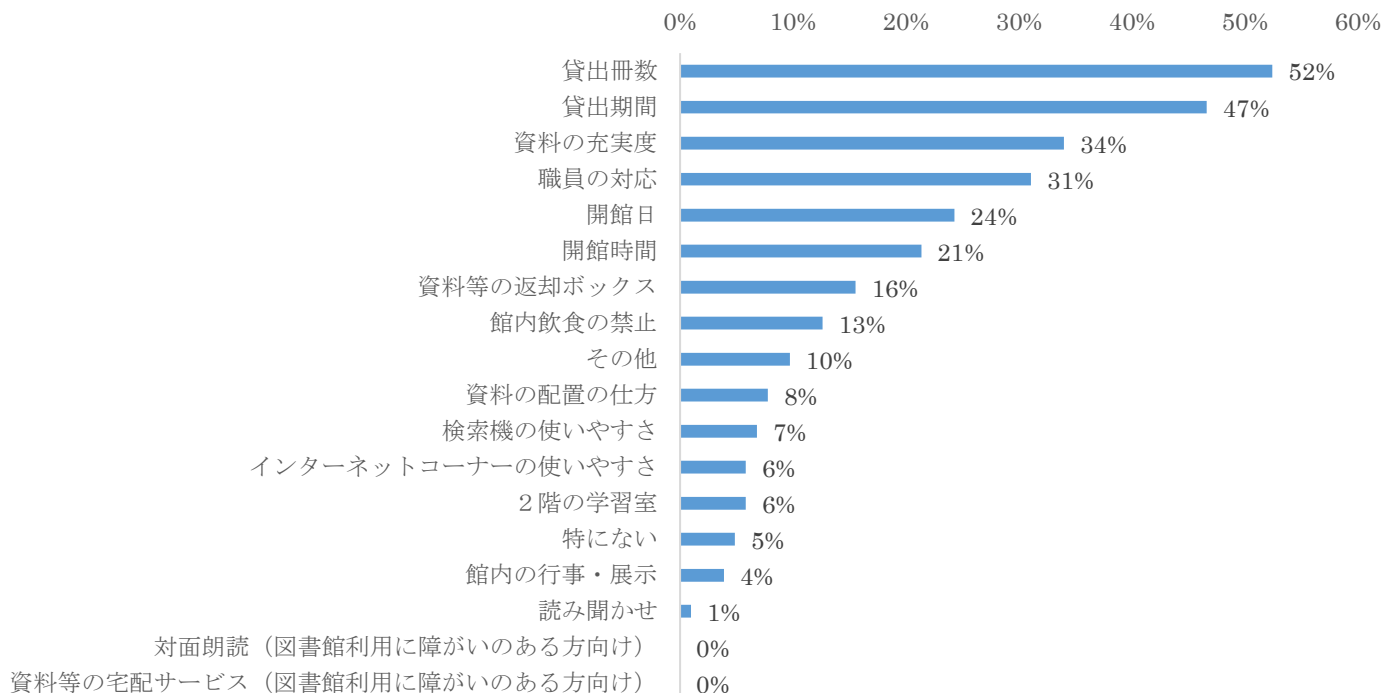
具体的に満足している点「その他」の主な意見

- ・新規出版本のリクエスト実現率が高い。
- ・DVD、広さ。
- ・揃えている本の種類、多さ（申し分ないです！）

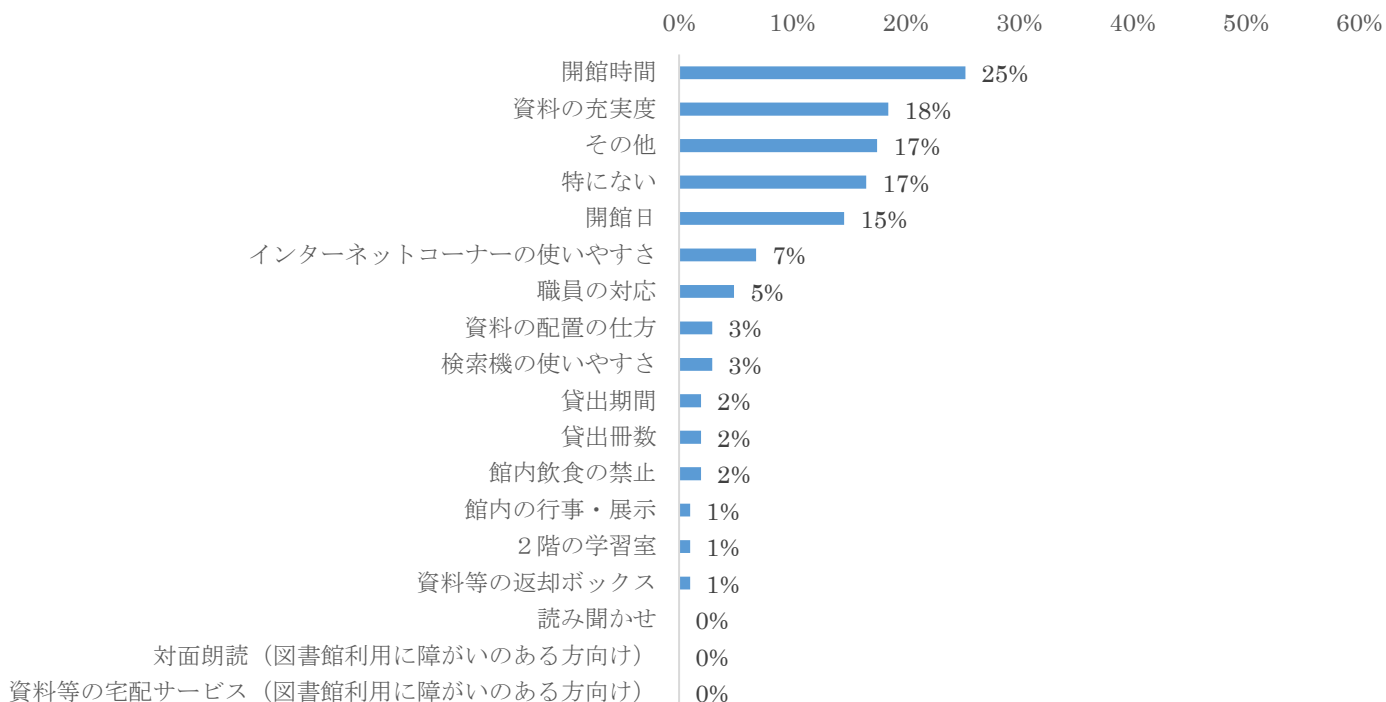
具体的に不満がある点「その他」の主な意見

- ・市外でもネット利用可能にしてほしい。
- ・土休日及び学校長期休暇時の小中高生がうるさい。
- ・ソファを寝る為に使用している人を注意してほしい。

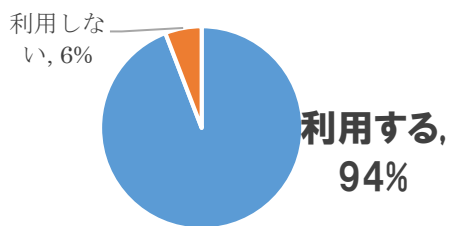
具体的に満足している点



具体的に不満がある点



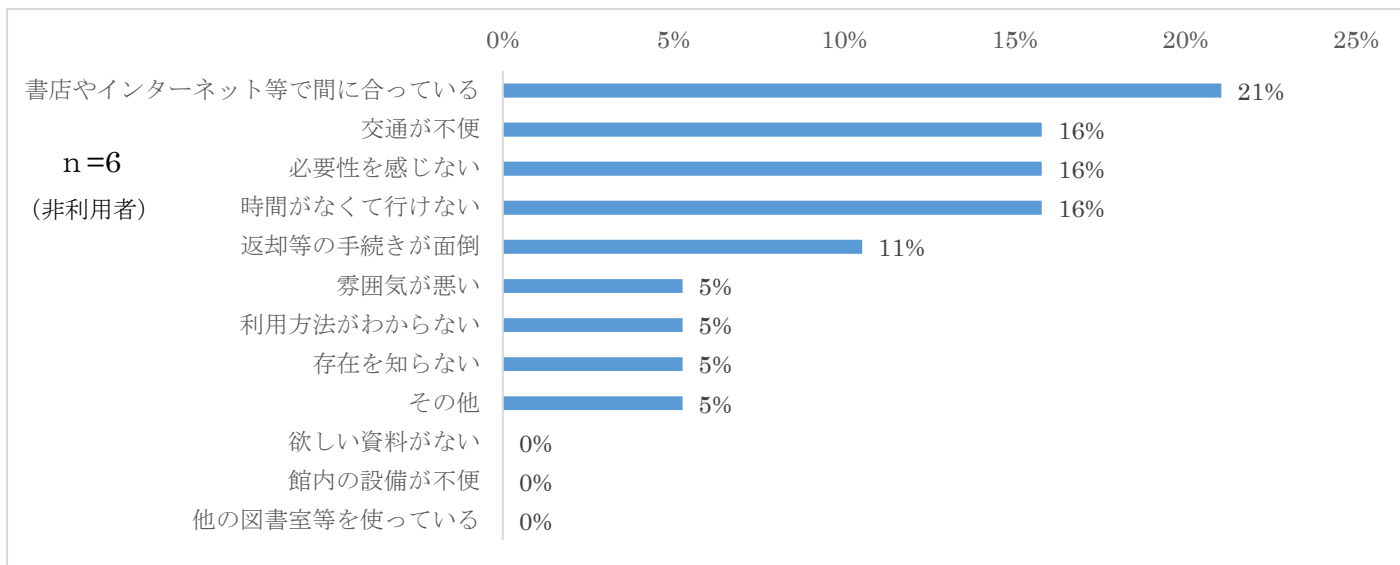
白井市立図書館を利用するか



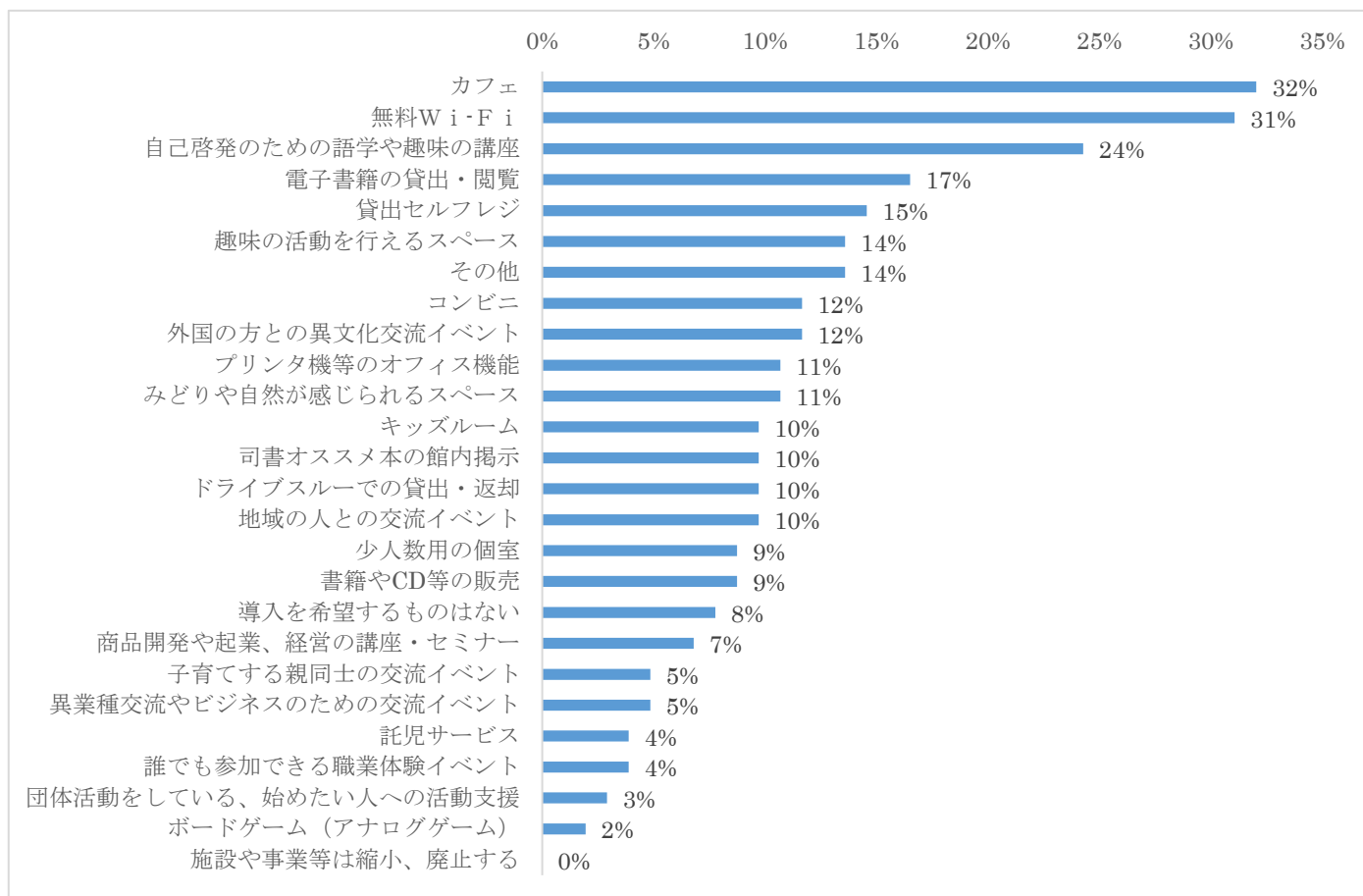
白井市立図書館を利用しない理由「その他」の主な意見

- ・自宅からの距離、利便性。

白井市立図書館を利用しない理由



次のうち、どのサービス等が充実すれば、自身は今より図書館を利用すると思うか



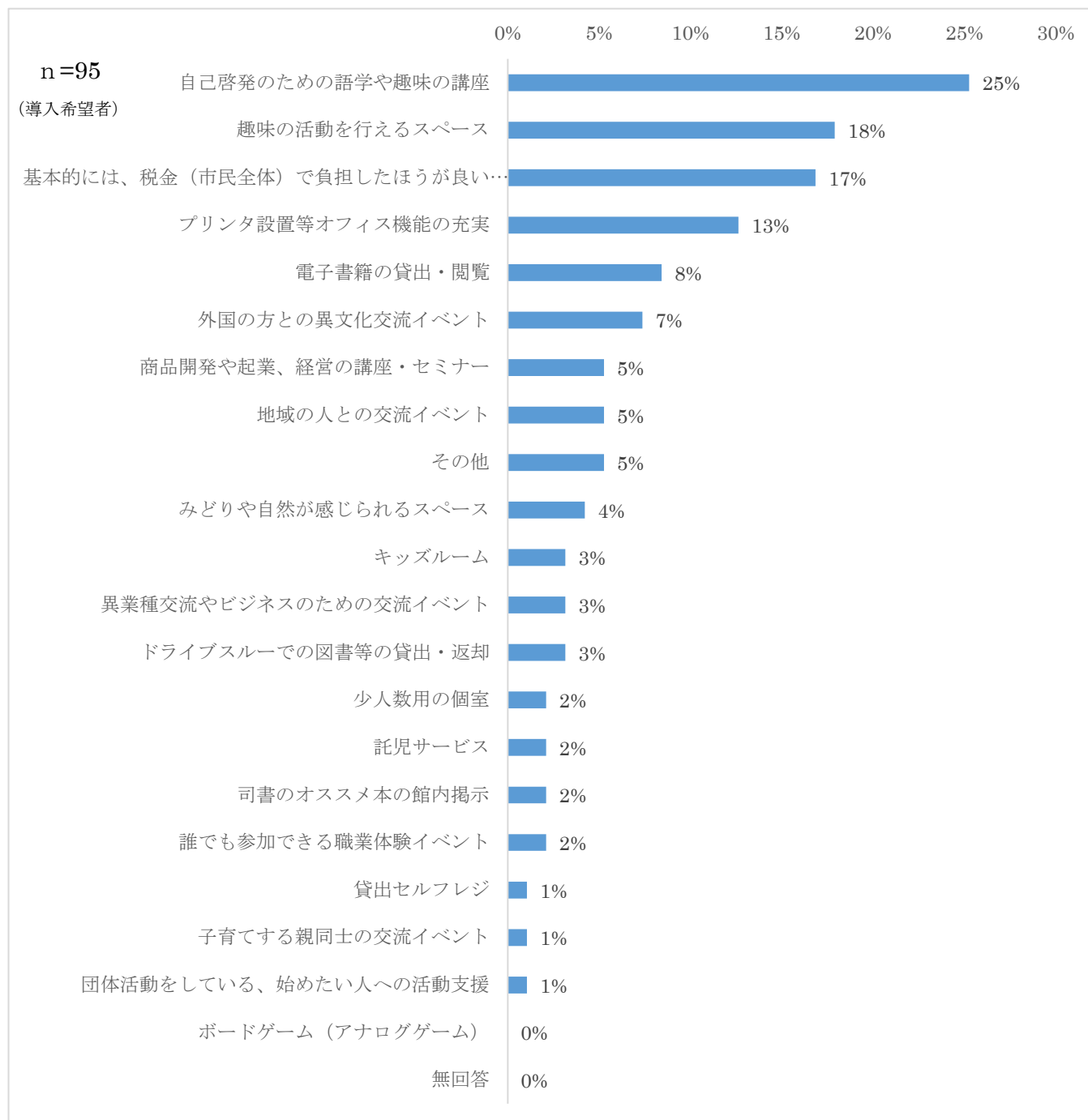
次のうち、どのサービス等が充実すれば、自身は今より図書館を利用すると思うか「その他」の主な意見

- ・ 検索（具体的なタイトル、作者名などが分からなくても、関連語句などで検索したい）
- ・ 夜間開館時間をもう少し長く。
- ・ 字の大きい本をもっと増やしてほしい。
- ・ 学習室の利便性（うるさいことが多い）。
- ・ 書庫目録を作してほしい。
- ・ 試験勉強の中高生は別室、あるいは勉強スペースへ分離。
- ・ 子連れのため、休憩時に使える飲食のみできるスペース。
- ・ 駐車場からすぐ入れるようにする。
- ・ マッサージチェア。
- ・ 大活字本の充実。
- ・ 立地（駅前）。
- ・ ハンモックで寝読みできる。

白井市立図書館で実施すると良いと思われるイベントや講演、活動などの企画について

- ・ 著者の講演会。出版社を招く。
- ・ ベストセラーの紹介。分析や本の読み方を教えてほしい。
- ・ 終活、相続問題。手話講座。趣味の講座。
- ・ 作家による講演、ミニコンサート。
- ・ 作品や作家などのテーマを決めて、語り合う機会があれば参加したい。
- ・ 地域に関係する作家や文化に関する講演を聞きたい。何年前に聞いた幸田露伴親子の話なども面白かった。
- ・ 新刊本の充実（最新本が借りやすくなるように。）
- ・ ビブリオバトル。本を通した多世代交流。
- ・ ベストセラー本の紹介。月間、年間貸出ベスト 10 を発表。
- ・ 通いたくなる空間の実現。
- ・ 図書館を利用している市民が関心がありそうなことと、現在行政が抱えている課題を絡めて企画やイベントなどを行なってみては。（総合計画の内容やタウンミーティングなどの声を参考に）
- ・ 個人で所有して読まなくなった本を集めて古本市。売れない本は、寄付やリサイクルにまわす。
- ・ ビブリオバトルは面白い取り組みでしたね！読書会の面白さに目覚めているのでふらっと参加できるものがあるといいな。ただ図書館主催だとどんな人が来るのかわからないので参加しづらいかも。市のイベントは総じてリタイアした男性が参加している（存在感も大きい）イメージなので。課題図書となる本好きが集まればいいのかな。サタン志麻さんの講演もよかったです
- ・ 図書館が静寂でなければいけないのか。実験希望。
- ・ 日本固有の伝統文化について。
- ・ 利用者の、「私の〇〇冊」リストとか。匿名でもなんでも。

何らかの導入を希望された方へ伺います。自分で実費を負担（利用・参加時に料金が発生）してでも、導入してほしいと思うサービス等はどれか



実費負担してでも導入してほしいサービス等「その他」の主な意見

- ・国民の知る権利を守るため、図書館としての基本的な機能を維持していただきたいです。
- ・民間企業の介入。
- ・子供向け学習イベント、講座。
- ・マッサージチェア。

白井市立図書館の良い所や、良くなってほしいと思う所はどこか。(一部抜粋)

- ・鉄道や郵便局のように民営化すればいいという意見も聞きます。近所の貸し本屋に小銭を握りしめて通った子どもの頃を思い出しますが、図書館の役割が今問われていることは確かです。”図書館は民主主義の根幹を成すもの”という基本姿勢を維持して、様々な企画を催していただけたらと願っています。
- ・図書館からの多くの発信が、市民には届かず残念に思っています。
- ・利用者の年齢は高めですが、若年層の利用が増えると良いのでは。
- ・本を閲覧する机が少なく、調べもの際は不便。
- ・いつでも自分を受け入れてくれ自由に好きな本を選べる幸せな場所。ただ、車の運転ができなくなった時、センター図書室では検索機が無いので本が探しづらいし、本の種類も少ないし変化もないので、センターの充実や巡回図書バスがあればいいなと思います。
- ・学童保育所では本が少なくすぐ読み終わる。廃棄本でよいので、市内の学童に児童書等を卸してほしい。
- ・食事はできなくても、飲み物を飲めるようにしてほしい。
- ・本以外のアプローチもして市民がもっと集まる場になってほしい。
- ・全体的に満足しています。が、強いて言えば、子どもと一緒に本を読めるスペースが増えるといいなと思います。土日は特に遊べる場所を探しているのです。雨の日は公園で遊べないのでキッズスペースがあるとすごく人気になると思います。無料じゃなく、カフェなど有料スペースでもありです。子ども用の椅子やソファ席など。旧市役所の7階にあったレストラン子連れで使いやすかったです。
- ・子連れだと気を使い、利用しにくい。幼児向けは部屋を分けたり、休憩できるカフェ、持ち込んだ物を飲食できるスペースを充実させてほしい。図書館は年寄りが昼寝する場所ではない。
- ・高齢化になってくると思われる白井周辺なので、移動図書館車で運ぶ。
- ・軽食が買える場所があると良い。
- ・英語の雑誌のCDも貸し出し可能にしてほしい。
- ・DVDなどの個室視聴ブースを設けてほしい。
- ・うるさい人を注意してほしい。館内で寝ている人等を注意してほしい。
- ・図書館があると非常に助かります。多分、既に市内に本屋がありません。日常的に書物に触れ合う機会が減る中、貴重な存在になりつつあります。展示物は時期ごとにいつも練られていて勉強になります。ぜひ続けてください。
- ・資料が偏っていて、読みたい本があまりありません。予算が足りないのはわかりますが、教育にかかる費用と同じく、白井市の文化レベルを上げるためには充実した資料のある図書館が理想だと思います。
- ・ネットで貸出できる本がわかるようにしてほしい。
- ・人口6万の町にしては図書館が立派過ぎる。費用が心配。職員も大勢いて予算が心配。
- ・白井市の図書館サービスレベルはかなり高いと思っています。

一別添資料 4- (職員アンケート内容)

【白井市立図書館アンケート】

1 次のうち、「業務上、この機能等が図書館にあれば、より事業の推進が図れるだろう」といった視点から、図書館に求める機能やサービスを選んでください。(複数回答可)

※以下「図書館」は、『白井市立図書館(白井市復 1148-8)』を指します。

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 無料Wi-Fi | <input type="checkbox"/> 自己啓発のための語学や趣味の講座 |
| <input type="checkbox"/> 電子書籍の貸出・閲覧 | <input type="checkbox"/> 商品開発や起業、経営の講座・セミナー |
| <input type="checkbox"/> 少人数用の個室 | <input type="checkbox"/> 地域の人との交流イベント |
| <input type="checkbox"/> 書籍やCD等の販売 | <input type="checkbox"/> 子育てする親同士の交流イベント |
| <input type="checkbox"/> コンビニ | <input type="checkbox"/> 外国の方との異文化交流イベント |
| <input type="checkbox"/> カフェ | <input type="checkbox"/> 異業種交流やビジネスのための交流イベント |
| <input type="checkbox"/> ボードゲーム(アナログゲーム) | <input type="checkbox"/> 誰でも参加できる職業体験イベント |
| <input type="checkbox"/> キッズルーム | <input type="checkbox"/> 趣味の活動を行えるスペース |
| <input type="checkbox"/> 託児サービス | <input type="checkbox"/> みどりや自然が感じられるスペース |
| <input type="checkbox"/> 貸出セルフレジ | <input type="checkbox"/> 団体活動をしている、始めたい人への活動支援 |
| <input type="checkbox"/> 司書オススメ本の館内掲示 | <input type="checkbox"/> 施設や事業等は縮小、廃止する |
| <input type="checkbox"/> ドライブスルーでの貸出・返却 | <input type="checkbox"/> 導入を希望するものはない |
| <input type="checkbox"/> プリンタ機等のオフィス機能 | <input type="checkbox"/> その他() |

2 上記で選択した機能等があった場合、図書館でどのような事業の推進が図れると思いますか? 具体的にご記入ください(自由記述)

3 図書館で実施すると良いと思われるイベントや講演、活動などの企画があれば教えてください(自由記述)

4 図書館の良い所や、良くなってほしいと思う所があれば教えてください(自由記述)

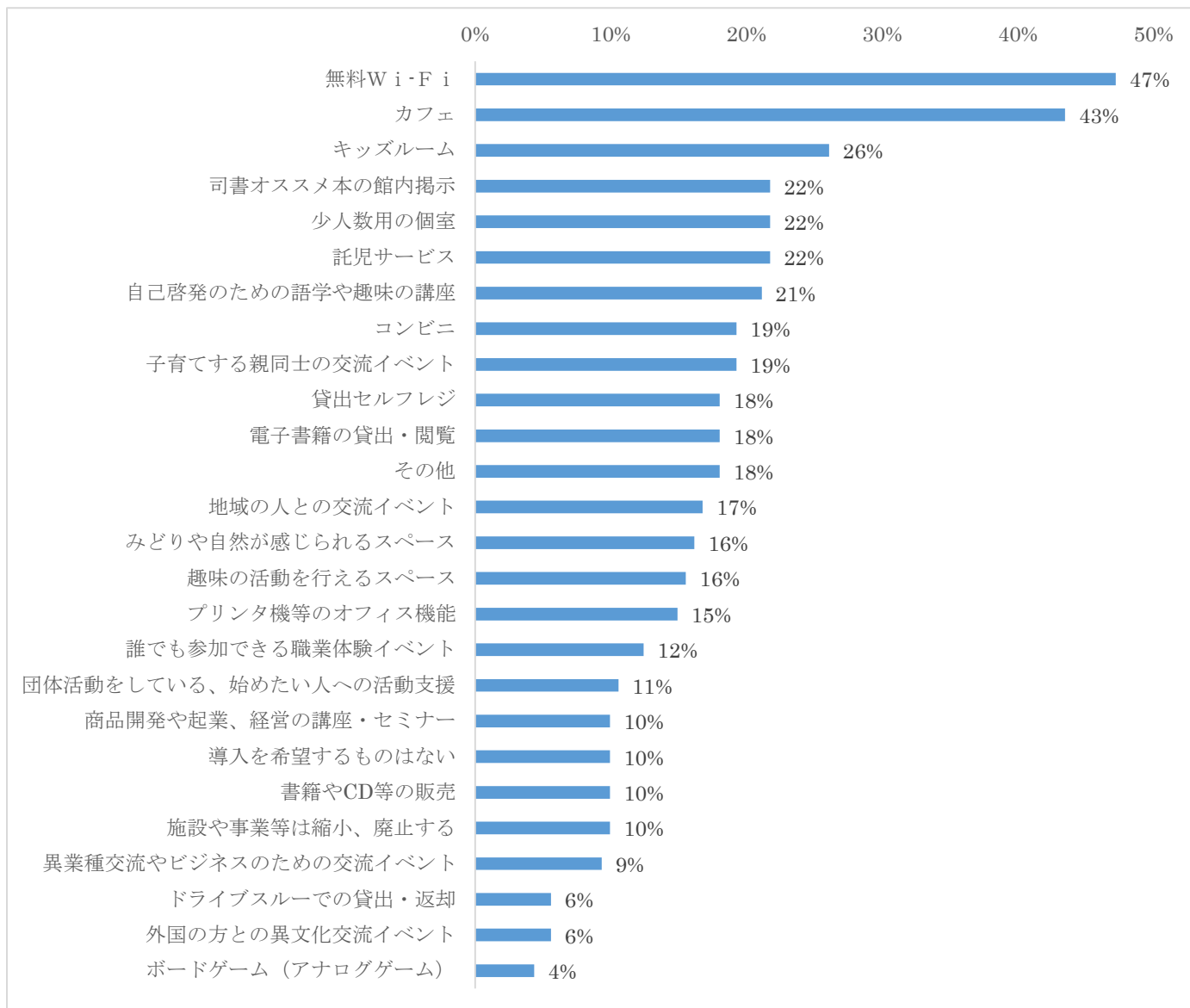
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

一別添資料 5- (職員アンケート結果)

※小数点第 1 位を四捨五入。回答総数は 161 人。棒グラフは複数選択式の設問である。

特段の注記がない限り回答総数は 161 人。

「業務上、この機能等が図書館にあれば、より市の事業の推進が図れるだろう」といった視点から、
白井市立図書館に求める機能やサービスはどれか



「業務上、この機能等が図書館にあれば、より市の事業の推進が図れるだろう」といった視点から、白井市立図書館に求める機能やサービス「その他」の主な意見

- ・白井産農産物の直売コーナー（野菜、梨、イチゴ、ブドウなど）
- ・白井ふるさと製品の販売。
- ・白井産品を加工した飲食コーナー（自然薯とろろそば、梨ジュース、梨ジェラード、梨を使ったケーキなど）
- ・市が行っている施策や課題の紹介ブース（月替わり、各課持ち回り）
- ・民間委託。指定管理者制度を導入する。
- ・本のある空間を楽しめるよう、居心地の良い空間を演出する。
- ・コワーキングスペース
- ・これからは、アーカイブの時代であると思うので、そのリソースの充実を図ってもらいたい。
- ・高齢者や子どもはインターネットからの情報が得られにくい。写真やイラストなどで図書館の方の展示スキルを発揮して頂き、分かりやすく情報共有できるのではないかな。
- ・図書館での読み聞かせの際に、保育士が協力し手遊びも行って、子育て中のママの交流会や図書館デビューにつなげてはどうか。
- ・定年後の高齢者（特に男性）の地域デビューや再就労・ボランティアデビューとして、図書館で市内就業やボランティアの体験や情報提供ができるのと敷居が低くなるのではないかな。
- ・市内の事業所や会社に PR してもらえるように協力依頼し、月替わりで業種やテーマを変えて展示してもいいのではないかな。
- ・館を特徴付けるもので、個人では入手が難しい専門書の充実。
- ・不登校の子どもたちが通える場（居ることができるスペース）
- ・夜間のフリースペース、夜間の貸し出し。
- ・予算人員の限りがあるのだから、「何の機能があれば市の事業と連携できるか」ではなく、「市の事業・課題の中で何を解決すべきか」という問題意識から付加できる機能を検討すべき。

上記で選択した機能やサービスがあれば、どのような事業の推進を図ることができるか（一部抜粋）

- ・図書館と保育の協働機能があることにより、子どもが図書館に行くことが楽しくなり、子育て中の親も交流が図れる機会が増えることで育児ストレスの軽減につながると思う。子育て支援センターや児童館、つどいの広場などと図書館がコラボすることで、子育て中の方が、他の子育て関連事業や施設を知る機会にもなる。
- ・無料 Wi-Fi→イベント等の参加者が感想や状況を SNS に投稿してくれて情報発信や魅力発信ができると思う。
- ・家庭の経済的に、学びの機会に恵まれない子供たちの支援に結びつくような、取組はできないものかと思う。
- ・みどりが豊かということを市の魅力としてアピールしているのだから、図書館にもみどりをを感じるスペースを作り居心地のよい空間を作ることで、市の一つの売りになるのではないかな。
- ・市民活動や生涯学習の機能があることで市民間ネットワークの推進が図られ将来的な協働の素地となる。
- ・民間と連携してカフェ等を導入したり、多目的に利用できるスペースを確保することで、活用方法が充実し、市民の交流や居場所の確保につながり、賑わいを創出する目的の事業や市民の交流を促すことを目的とした事業の推進が図れるのではないかなと思う。
- ・外国の方との異文化交流イベントがあることにより、日本語以外の図書も扱っていることを知ってもらい、地域の居場所の 1 つとなっていくことができ、まちづくり事業の推進が図れると思う。（特に多文化）

白井市立図書館で実施すると良いと思われるイベントや講演、活動などの企画について（一部抜粋）

- ・市民参加型のイベント。
- ・同じ施設内にあるプラネタリウム、郷土資料館と連携した事業があるとよい。
- ・有名アーティストのライブ…ファンの方が市内外問わず集まることにより、魅力発信にもつながると思う。
- ・パソコン教室や英会話教室などの学習講座…初級編から上級編まで行えれば、子どもや高齢者だけでなく、生産年齢人口の方にも参加していただけたと思う。また、会場の近くに関連書籍を置いておけば、利用促進にもつながると思う。
- ・まちづくりサポートセンターと連携して、図書館の資料を活用して市民活動を支援する取り組みなどあれば良いと思います。
- ・園芸、ペットのしつけ、お菓子作り、料理、健康管理、など、様々な分野で、それを得意としている人を講師として招き、ミニ講座を開催。その中で、参考にしたらしい本などを紹介してもらう。
- ・小学生が学校行事としてプラネタリウムに来た時などを利用し、その際に、図書館の時間も作ってもらい、図書館の利用の仕方（本の探し方などを含めて）や魅力などを図書館職員の方が紹介し、今後、図書館を積極的に利用してもらうようにする。
- ・働き方改革により、スキルアップの需要が求められていると聞きます。スキルアップのできるセミナーとタイアップした図書の紹介があるといいなと思います。
- ・中高生をターゲットに、図書ボランティアの募集や、進路の参考となるような職業の講座などがあるとよい。

白井市立図書館の良い所や、良くなってほしいと思う所はどこか。（一部抜粋）

- ・これまで白井の図書館は、よくやってきたと考えています。また、高齢化が進む中、図書館は拠点としての役割も担っていくことになるものと思います。しかしながら、財政状況が苦しい中、司書や図書の確保も難しくなっているのではないのでしょうか。これらを適切に確保するためには、現状維持を目指しても限界があり、現実的な将来ビジョンを示す必要があります。（規模縮小や民間委託など）
- ・現在のところ、自治体の規模の割に資料が非常に充実しているのが最大のセールスポイントとなっておりますが、ただ資料を提供するのみではインターネットに押されて需要が減るばかりなので、各課やまちづくりサポートセンター、市民団体などと連携したイベントを行うなど、充実した資料をどう地域や社会に役立てるのか提案できる事業を行い、市税を使って資料を収集する意義を多くの人に伝えていく必要があると思います。
- ・図書館は白井の財産です。教育・生涯学習に力を入れることは、白井の未来のために重要だと思います。激変する情報化社会のなか、これからも地域の情報センターとして時代に合ったサービスを期待しています。
- ・蔵書数・施設の規模からみても重要な資源ですので、文化レベルの象徴として、また定住条件(住みやすさ)や子育て環境のポイントとして、もっとアピールしたらよいかなと思います。
- ・図書館は住民に一番身近な施設で、住民に知りたい情報を提供する施設です。地域の資料は大切に保管し、また新しい資料を収集し準備する。その資料を利用者に手渡すことは図書館員の大切なミッションだと考えています。特にこれから生きていく子どもへは、将来にわたって、自ら学び・問題を解決するために図書館を利用できるように、図書館は準備が必要だと思います。
- ・白井市立図書館は現在夜間開館を縮小するなどして、今後のサービスのあり方を模索しています。これからも市民に寄り添い、市民に愛される図書館となれるよう、職員として努力したいです。